

## 配位子は名バイプレイヤー

錯体化学では、配位子で錯体の構造や酸化還元電位、反応性を制御することが常道であり、醍醐味でもあります。人工光合成研究において重要な水の酸化反応や二酸化炭素還元反応を触媒する金属錯体では、反応の主役は中心金属ですが、配位子は名バイプレイヤーとして主役を支えています。しかし、よく見ると配位子が主役級の活躍をしている舞台（触媒反応）があります。・・・